



本校は相模灘に面した伊豆半島の東岸中部に位置し、伊豆東部火山群の溶岩流によって荒々しい絶壁の海岸が多くあります。この海岸や西端の山稜が富士箱根伊豆国立公園として指定を受けています。校舎は高台にあるため、教室の窓からは相模湾の絶景が望めます。全校生徒223名で、部活動では多くの種目で県大会に出場するなど成果を上げています。

また、委員会活動に精一杯取り組み、穏やかで思いやりのある生徒が多数います。

その一方、自分の気持ちを言葉にして上手に人間関係を築くのが苦手である、勉強に自信

本校は、浜松駅から北に1.5キロの位置にある全校児童364名の小学校です。駅から近く、整備された学区には、大学や様々な企業があり、児童の学びの場となっています。体験活動や、地域の方と交流する学習活動が多く、「知りたい・やってみしたい・できるよになりたい」という気持ち強い児童がたくさんいます。

本校の教育目標は、「やさしさ 元氣 夢 いっぱい」目指す子供の姿は「やってみたいと考え、動く子」です。昨年度の学校評価では「落ち着いた生活」ができていると回答し

がない、家庭環境に問題を抱えているなどして、自己肯定感が低い生徒が数多くいます。このような状況から、保健室を利用する生徒の背景は多様化・複雑化しており、心の不調を訴える生徒も少なくありません。

本校の学校教育目標



は「未来を拓く生徒」豊かな感性(徳)、確かな学力(知)、逞しい活力(体)です。その姿に迫るためには保健教育を通して「逞しい活力」夢や希望に向かって全力で励み、挫折を成長の糧にできる力」を育成することが必要であると考える。そこで、困難な

た児童、保護者、職員が少なく、けがでの保健室来室が多い状況でした。そこで本年度、体育部の重点目標として「自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする」を掲げ、毎月「心の天気アンケート」を実施して



り、けがを防ぐための方法を考える指導を行っています。

私は、子供たちが自分の心身の健康に関心を持ち、自分を大切にできる子になってほしいと思い保健室を経営しています。児童の来室時には、問診を丁寧

ことがあり落ち込んで立ち直る力「レジリエンス」を育む視点を取り入れた保健教育を行っています。

本校の保健教育は中学校区小学校と連携しながら行っています。校種を超えて養護教諭同士で指導内容を相談したり、意見交換を行っ

本校は、発達支援学級がないため、教室に行けない児童の多くが保健室に居場所を求めています。それぞれが抱える背景要因を理解し、子供の気持ちに寄り添った対応をする中で、「今どんな気持ちかな」「どうしたら安

伊東市立門野中学校

養護教諭 若松 綾

浜松市立東小学校

養護教諭 神田百々香



内連携や保護者との連携は自分の中の課題だと感じています。子供の対応、校内連携等試行錯誤しながらより良い支援体制を構築していきたいと思っています。

まだまだ経験が浅く、身につけなければいけないことばかりです。子供が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、養護教諭としての技量を高めたいと思います。



そのためにも、中学校区小学校と連携を図りながら、小中9年間を見通した保健教育を系統的に行っていくことが大切だと考えています。

保健室には、日々、様々な困り感を持った子どもたちが訪れます。そんな子どもたちの話をしっかりと聴き、その子にとって最も良い解決方法と一緒に考え、その困り感に寄り添うことができる養護教諭でありたいです。

げんきな事業所

沼津市役所

(沼津市御幸町16番1号)



「医務室だより」(看護師作成)による職員向け情報発信



市庁舎外観

令和5年7月1日に市制施行一〇〇周年の記念すべき節目を迎えた沼津市は、首都100キロメートル圏に位置する静岡県東部にあって恵まれた自然環境と優位な地理的条件のもとで、東駿河湾地域、伊豆方面への交通拠点あるいは広域的な商業・文化拠点として、古くからこの地域の政治、経済、文化の中心的役割を担ってきました。

奥駿河湾越しに見る富士山、緑濃い千本松原、香貫山、街の中心部を滔々と流れる狩野川などの豊かな自然とその景観は、多くの文人たちを輩出すると同時に、新鮮で豊かな土温暖な気候と豊かな土

【職員的安全衛生管理】

沼津市役所には、沼津市役所事業場をはじめとした7つの事業場があり、衛生委員会ま

【メンタルヘルス対策】

メンタルヘルス対策として、健康診断と同様に、毎年全職員に対してストレスチェックを実施しています。自身のストレス度合いを知り、セルフケアに活用するとともに、

【職員の健康管理】

職員の健康状態の把握、疾病予防のために、毎年全職員に対して健康診断を実施し、年齢該当者等のうち希望する職員に対しては各種がん検診等も実施しています。

健康診断の結果で再検査等が必要となった職員に対しては、所属長からすみやかに受診するよう指導し、併せて受診結果報告書の提出を求め、疾病の早期発見・早期治療に繋げるよう努めています。

その他、職種や業務内容に応じた予防接種の



香貫山展望台上空からの富士山

悩みを相談できる場として、精神科医によるメンタルヘルス相談の実施や、市役所医務室の看護師による心の相談窓口を設置し、職員の心の健康の保持増進、メンタル不調の未然防止に取り組んでいます。

沼津市は、将来都市像である「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に向けて、官民一体となって様々な取り組みを進めています。魅力あるまちづくりを推進していくためには、職員一人ひとりが心身共に健康で、その能力を十分発揮できる環境を整えていく必要があります。

職員の健康の保持増進のため、より一層安心安全で働きやすい環境の整備に取り組んでまいります。